

所沢のあすを考える

第6回

市民フォーラム



私たちは所沢市に住んでいて、市の将来をどのように描いているでしょうか。私たちが漠然と抱いている不安を「あす」の確かな道筋に変えていきませんか、2019年は、統一地方選挙などの選挙の年です。市政に関心を持ち、参加していくきっかけにしませんか。**あなたの熱意が、市政を変えます！**さまざまな課題（裏面参照）を持ちより参加をお待ちしています。

【テーマ】 今までの議論をふりかえる
—あすの所沢のために私たちは何ができるか—

選挙で投票率が低下するのは政治への無関心や、論点・対立点が隠れているといったことが考えられます。それは議会にとっても存在意義が問われることでしょう。

私たちは5回にわたって所沢市の課題を問題提起し学習をしてきました。そして考え続けることが社会を変える一歩となるのではないか、議会や市に対しても「あとはお任せ」とならない関わり方があると気づきました。

市議会記念フォーラム（2月9日）で廣瀬法政大教授が提起されたように「市民が議会を使いこなす関係づくり」、「議員だけで頑張るのではなく人をもっと巻き込む」という関係を作り上げていくためには、私たちはどんなことができるのか議論していきましょう。

日時：**3月16日土曜**
午後6時30分～8時30分

場所：所沢市中央公民館
学習室1・2号

主催：所沢のあすを考える
市民フォーラム

事務局 070-5029-1300（栗田）



中央公民館 電話 04-2926-9355
所沢駅西口、西所沢駅東口、航空公園駅西口から各々徒歩15分

「所沢のあすを考える市民フォーラム」ニュース

第5回市民フォーラムは2019年2月24日(日)の14時~16時に中央公民館の学習室1・2号室にて開催しました。

テーマは「自然エネルギーを活用した、市民共同発電所をつくるー市民と農家が提携した地産地消プラン(ソーラーシェアリング)ー」。市内で、実際にソーラー発電のために立ち上げた社団法人から、2名のメンバーが、理論的な側面と実際の問題等を話されました。テーマに関心の高い市民の方々に多数参加いただきました。

■ Part 1 「SDGs と所沢、そしてソーラーシェアリング」と題して大江 宏氏(亜細亜大学名誉教授、環境マーケティング論、環境ビジネス 環境問題に関わって、近年は、モンゴル国の鉱物資源開発と環境問題調査を行い、産学公連携による解決を目指す)の話。

自然エネルギーの活用方法として、次のように、広く地球的な観点から地元へ、という理論的根拠から、所沢でのソーラーシェアリングに至る考え方を紹介されました。

1. 「パリ協定」とSDGs (Think Globally=地球規模で考え、)

二つの世界規模の理論的根拠: ①2015年にフランス・パリで締結された第21回気候変動枠組み条約締約国会議(COP21)で結ばれたパリ協定 ②国連が、2030年に向けて国際社会が目指すべき、として2015年に掲げた17項目の「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)

2. SDGs と所沢ならびに市民の役割 (Act Locally=地元で行動せよ)

行動に移すための方法として、政府・自治体・民間セクター・市民社会、諸機関を含む様々な関係者のパートナーシップの重要性

3. SDGs とソーラーシェアリング (solar sharing=SS)

SSとは、太陽(solar)の恵みを分け合う

(share)こと。日本では、「営農型太陽光発電」あるいは「営農型発電事業」と呼ばれている。太陽光パネルの下で耕作しても、作物の生育を阻害しない。

■ Part 2 所沢での自然エネルギー促進の取り組みを一般社団法人 所沢市民ソーラーのメンバーより話されました。

所沢市の取り組みの現状を所沢市が51%を出資して設立された「ところざわ未来電力」のスキームと評価、ソーラーシェアリングの実例やシステムの図が示されました。所沢では地域の特性から太陽の恵みを農作物と発電によって得られること、他地域での実例や法人の紹介をした上で現在計画中の発電計画について、組織、スキーム、設備計画、資金計画などを示されました。FIT(固定価格買取制度)が4月より引き下げられるので今後取り組みが難しくなる面もあることなども示されました。

■ その後、活発な意見交換がおこなわれました。参加者20名のほとんどが自然エネルギーに非常に関心が高く、専門的な質問や積極的な意見も出しました。

太陽光の他に風力、小水力、バイオマスもあるが→自然由来の様々な発電がありますが、所沢ではソーラーシェアリングがベストだと当会では考えています。

風力発電についてのやりとりが、かなりありました。小型風力なら所沢でも可能ではないか→航空公園の中に、ソーラーと風力を合わせた照明灯があります。こうした利用方法はこれからふえるのでは。

発電した電力はどうするのか→東電に売ります。他の電力会社もあり、自家消費も考える時期にきている。

耕作放棄地を使うのか→市農業委員会の許可を得るのがたいへん、懸案になっている。

他に、フォーラムの取り組みをホームページなどでもっと広げて欲しいという意見も。

フォーラムで課題とする「あすのための」主な政策

- ★子ども・教育環境と市政を考える~エアコン、保育園、学童
- ★介護・福祉と市政を考える
- ★エネルギーの地産地消と市政を考える~市の産業育成
- ★市の人口問題と将来について考える~少子・高齢化・生産人口の減少
- ★街づくりと地域コミュニティの在り方について考える~公共施設の再編とコミュニティ
- ★住民自治と市政のガバナンスについて(市民参加と行政・議会の関係)
- ★市の財政からみた所沢市
- ★市の民主主義や平和と安全に対する在り方
- ★男女共同参画、マイノリティーについて市政の在り方